

Replaying Japan

Replaying Japan Conference は、アルバータ大学哲学及び人文コンピュータ学部（Philosophy and Humanities Computing）のジェフリー・ロックウェル教授が、RCGS に客員研究員として訪問し、RCGS の研究メンバーと交流を深めたことを端緒に始まったカンファレンスである。ロックウェル教授は、RCGS の研究員に対し、世界には日本のゲームに関する研究を進めている人たちが多くおり、日本のゲームに関する研究についてより多くの情報を求めていることを明らかにした。一方で、RCGS では、ゲームに関する研究を蓄積してはいたものの、研究発表を主に日本語で行ってきた経緯があり、今後のグローバル化を推進するうえでどのような段取りをすすめていくかについて検討している最中であった。そこで、RCGS 研究員とジェフリー・ロックウェル教授を中心としたアルバータ大学の研究者とで協議を重ね、一つの試みとして 2012 年にアルバータ大学で開催したのが、Replaying Japan と銘打ったシンポジウムであった。

このシンポジウムには、RCGS のセンター長であった上村雅之教授をはじめ複数名が参加し、日本のデジタルゲーム研究に関する現状を講演した。それらの研究発表が反響を生み、改めて日本由来のゲームを研究する場の必要性が確認されたことを受けて、改めて翌年の 2013 年、一般公募の研究を含めた本格的なカンファレンス「Replaying Japan」が立命館大学において開催されることになった。それ以降、アルバータ大学 The Prince Takamado Japan Centre ならびに The Canadian Institute for Research Computing in the Arts、ライブチヒ大学、ストロング遊戯博物館、英国ナショナル・ビデオゲーム・アーケード、ベルギーのリエージュ大学などでカンファレンスが開催され、「Replaying Japan」に参加する協力機関は国際的な広がりを見せている。

立命館大学ゲーム研究センター

立命館大学ゲーム研究センター（RCGS）は、ゲームの分野における日本で唯一の学術的機関として、2011 年 4 月に立命館大学衣笠総合研究機構に設置された。同センターは、伝統的な遊具や玩具から最新のテクノロジーを用いたゲームまで、幅広いゲームと遊びを対象とし、総合大学の強み、日本のゲームの揺籃の地である京都という立地を活かして、専門的かつ総合的な研究を進めている。また、この分野での産学官連携をいっそう促進するために、行政機関・公的機関とゲーム関連企業・関連団体を橋渡しする役割を積極的に果たしていくこともミッションとしている。

立命館大学ゲーム研究センター <https://www.rcgs.jp/>

Editorial Board: Replaying Japan Vol.6

アドバイザーボード / Advisory Board

- ◆ Mitsuyuki Inaba
- ◆ Geoffrey Rockwell

編集責任者 / Editors in Chief

- ◆ Akito Inoue (共同副編集責任者 / Deputy Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Mimi Okabe (共同副編集責任者 / Deputy Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Jérémie Pelletier-Gagnon (共同編集責任者 / Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Martin Roth (共同編集責任者 / Co-Editor-in-Chief)

査読委員 / Board of reviewers

Nathan Altice, Keiji Amano, Fanny Barnadé, Mia Consalvo, Björn Ole Kamm, Bryan Hikari Hartzheim, Koichi Hosoi, Rachael Hutchinson, Chitoko Koide, Christoph Hust, Douglas Schules, Hiroshi Yoshida, Hiroyasu Kato, James York, Joleen Blom, Juhyung Shin, Kentaro Matsumoto, Koji Mikami, Majkowski Tomasz, Masahito Fujihara, Mimi Okabe, Nobushige Kobayashi (Hichibe), Shinji Matsunaga, Takashi Obana, Takeshi Okamoto, Vincenzo Idone Cassone, Yasuo Kawasaki, Yoshihiro Tanigawa, Yuichi Sakaki, Kazufumi Fukuda, Akinori Nakamura, James Newman, Masaharu Miyawaki, Ruck Thawonmas, Shuji Watanabe, Jeremy White